

追加変更工事一覧表作成の留意点

大阪地方裁判所第10民事部

施工者側入力留意点

追加変更の種類	本工事の内容 (※1)	追加変更工事 の内容(※1)	追加変更の 理由(※2)	A 本工事 金額	B 変更後 金額	差引
新規追加 (本工事がない箇所への追加)	空欄	新規追加工事の内容を記載	施主からの指示等の 具体的な原因 を記載	0	新規追加後の額	B
追加変更 (本工事のある箇所の追加変更)	工事箇所ごと に入力	追加変更工事の内容を記載		B - A (正)		
減工事 (当初予定の工事の取り止め)	工事箇所ごと に入力	減工事の内容を記載		B - A (負)		

※1 各工事の内容の証拠欄には図面、仕様書、見積書等の証拠を入力

※2 追加変更の理由の証拠欄には、裏付けとなる議事録、メール、ファックス等の証拠を入力

証拠はページ数等を付して入力！



追加変更工事一覧表作成の留意点

大阪地方裁判所第10民事部

施主側入力の留意点

本工事の認否

【内容・金額とも認める場合】

「認める」

【内容は認め、金額は争う場合】

「内容は認める。金額は●●円」

【内容・金額とも否認する場合】

「否認する。その理由は…」



争うときは、証拠欄にページ数等を付して入力！

追加変更工事の認否

【内容・金額とも認める場合】

「認める」 cf. 瑕疵がある場合→別に瑕疵を主張

【内容は認め、金額は争う場合】

認否欄には「認める」、主張金額欄に主張額を入力

【内容・金額とも否認する場合】

「否認する」とした上、次のような**具体的理由を明示**

① 追加に該当しない

… 本工事の一部、見積ミス、手直し工事 etc.

② 注文していない

③ 有償性・金額の合意がない

… サービス工事、金額の交渉なし etc.

cf. 勝手な中止→減工事は否認、別途未施工の瑕疵を主張